



GIGAスクール構想とは

2019年に児童生徒一人1台の学習用コンピュータとそれを活用するための高速大容量の通信ネットワークを、今後5年間のうちに一体的に整備することが決まりました。これが「GIGAスクール構想」です。「GIGA」とは、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取ったものです。5年間のうちに整備することを決めたものの、昨今の新型コロナウイルス感染症ウイルスの全国的な感染のために、対面での授業ができない地域があり、そういった地域の子どもたちへの学びの保障としてオンライン授業が取り上げられました。そういった現状を受け、早急に整備が叫ばれ、にかほ市においても今年度から一人1台のタブレット端末が配付され、授業等で積極的に活用されているところです。

GIGAスクール構想の目的は、児童生徒の個性に合わせた教育の実現にあります。一人1台端末を取り入れることで、多様な個性をもつ児童生徒を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びや、創造性を育む学びを進めることができるのです。

さて4月から本校でも、積極的に授業の中で、タブレットを活用した授業を取り入れているところです。どんな使い方をしているか列記してみます。



- ・校内の気に入った場所をカメラで撮影し、写真を見ながら絵を描く。
- ・提示された写真を見て、気づいたことを直接写真に書き込み、自分の考えを他者と交流する。
- ・教師から提示された内容を、検索エンジンを活用し調査し、まとめている。
- ・タブレットに入っているアプリを使い、計算などの簡単な練習問題に挑戦している。
- ・休み時間などを活用し、キーボード練習に取り組んでいる。

さて、2学期からは朝登校したらすぐに、廊下にある保管庫の中にある自分のタブレットを、教室の自分の机の中に入れることを始めました。自分の机の中には常にタブレットが入っている状況になっています。こういったちょっとしたことから始めることで、これまで以上に授業での使用頻度が高まるのではないかと考えております。また夏休み明けの由利本荘保健所管内における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生のため、長休み昼休みの器具や用具を使つての遊びを一時的に禁止したところ、各教室内では自分のタブレットを出して、一生懸命キーボード練習に励んでいる姿が見られました。心配なことは多々あるのですが、日頃のこういった積み重ねが、今までの鉛筆やノートに頼っていた学習からの脱却につながるのではないかと思います。

教職員の中で確認していることは、まずは使ってみること。そして使うことが目的ではなく、使うことによっていかに子どもたち一人一人の学習意欲を高め、学力を向上させるかということです。いずれは各家庭への持ち帰りも実現しなくてははいけません。保護者の皆さまのご協力が必要になりますのでよろしくお願いします。



オンラインでの様々な試み

夏休み期間中にネット環境が整備されたことを受け、また2学期早々のコロナウイルス感染症の広がりを受け、本校でもオンラインで様々な取組を行っております。

9月2日(木)には、パラリンピックのリベリア選手団との交流会を行いました。にかほ市の全ての小・中学校が参加し、リベリアの選手たちと心温まる交流を行いました。本校は5年生が教室において画面越しに交流を深めることができました。

9月3日(金)には、いつもは体育館で行われる全校集会を、ZOOMを活用したオンライン集会に切り替えて実施しました。校長室から各教室にいる児童に向けてのお話と、賞状伝達を配信しました。いつもとは違った形での集会で、準備やら何やらでとまどうことも多かったのですが、何とか予定通り実施することができました。

これからの感染状況によっては、こういった形での開催も考慮しなければなりません。



リベリア選手団とのオンライン交流会から



全校集会の様子から

お知らせ

明日(10日)は院内小学校の147回目の誕生日、開校記念日になります。学校はお休みになりますが、この学校で勉強したり、遊ぶことができることに感謝する日ですので、家でも院内小学校のことを大切にする思いをもって下さい。